

## 主力製品漁業用ロープの需要減少に対応 新規事業に進出し独自加工技術で新規顧客開拓

昭和21年に設立、昭和24年に室蘭製綱株式会社に社名変更して以来、主に漁船漁業に使われるマニラ麻ロープ、コンパウンドロープ、コンビネーションロープの製造を行ってきた。その後、昭和57年の200海里規制に伴い、同社の顧客である北洋転換船、沖合底曳船、北洋サケマス船が大規模な減船、廃業を強いられたことから、新規ユーザー開拓、新規事業への進出のためワイヤロープの付加価値を提供するべく端末加工（ロック、さつま加工）を強化することで現在に至る。

- |          |   |        |         |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地    | 北海道室蘭市中島町4丁目17-9  | ● 設立   | 1946年   |
| ● 電話/FAX | 014-347-1290/014-347-1293   | ● 資本金  | 2,000万円 |
| ● URL    | <a href="http://murotan-ropes.co.jp">http://murotan-ropes.co.jp</a> | ● 従業員数 | 12人     |
| ● 代表者    | 代表取締役 石岡 希一   |        |         |



### 繊維ロープ製造と共にワイヤロープ端末加工を施す唯一の国内企業

同社は繊維ロープ製造と共にワイヤロープの端末加工を施す全国唯一の会社。その為両者の特徴である繊維のしなやかさとワイヤの高強度の利点をあわせたコンパウンド（複合）ロープの製造が主力となっている。また、ワイヤロープの端末加工では東北以北最大級のロック加工機を有し、北海道内には受注後翌日納入の即納体制、更には100%受注生産のためユーザーの様々な仕様を満足することが可能。メーカーの持つ専門知識をいかしながらユーザーの立場に合わせたロープのコンサルタント（相談役）として様々なニーズに対応。



漁業用コンパウンドロープ

### 端末加工によるワイヤロープ付加価値の向上

製造するワイヤロープの付加価値を高めるため、端末加工（ロック加工、さつま加工）を施し全国の取引先のニーズに対応し高品質な製品とサービスを提供。ワイヤロープはメーカー出荷時には200メートル以上の長尺で出荷されるが、ユーザーが使用する場合（多くは重量物を吊り上げる際）メーカー出荷状態では吊り上げる際に必須な両端末の輪が施されておらず、また長いワイヤロープの端末加工（ユーザーが使用状況に合わせて最適な長さでワイヤロープを切断し両側に輪を作る）を施す。各種クレーンに用いられる特殊仕様ワイヤロープの販売も手掛けている。



各種クレーン用特殊ワイヤロープ

### 設備導入による生産リードタイムの短縮

同社では、平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業ワイヤロープ加工機を導入。有効に活用しワイヤロープのロック加工時間が導入前比半分以下に短縮した結果、生産リードタイムをの大幅短縮で取引先の短納期ニーズに対応。併せて工程に応じ人員を配置、教育により全ての従業員が全工程の作業ができ、工程別で異なる繁忙期は人員配置変更により生産性を落とすことなく稼働可能。ロープ加工技能士の資格取得を支援し資格保有者は4名。対外的な信用度も高く申し分ない技術力。



プレス機によりロープとアルミ管を圧縮